



杉並区議会だより

[発行] 杉並区議会 [編集] 区議会広報委員会 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎ 3312-2111 FAX 5307-0695
<http://www.city.suginami.tokyo.jp/kugikai/>

No. 235
 平成29(2017)年
 5月1日発行

平成29年 第1回定例会



4月に一部開園した「下高井戸おおぞら公園」(下高井戸2-28-23)。広々とした原っぱや子ども遊びエリア、災害時の防災拠点としての機能などを備えた公園です。東側敷地部分は、今後整備予定です。

平成29年度予算を可決しました

待機児童対策の継続、杉並区独自のふるさと納税 制度の活用などに取り組み

第1回定例会は、2月13日から3月16日まで32日間の会期で開かれました。初日に区長から、平成29年度予算案について説明があり、これを受けて会派の代表6名が質問を行いました。予算案については全議員による予算特別委員会を設置し、内容を審査しました。また、区政一般については15名が質問を行いました。

今定例会では、条例案15件、契約1件、予算案11件など33議案を審議し、全て原案どおり可決しました(審議の結果は12面をご覧ください)。

議 会 日 誌

- | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>24日 総務財政委員会</p> <p>23日 文教委員会</p> <p>22日 都市環境委員会</p> <p>21日 保健福祉委員会</p> <p>20日 区民生活委員会</p> <p>17日 予算特別委員会
本会議</p> <p>16日 議会運営委員会
本会議</p> <p>13日 15日 本会議</p> <p>3日 議会運営委員会</p> <p>2日 議会運営委員会
本会議</p> <p>31日 議会運営委員会
本会議</p> | <p>27日 災害対策特別委員会</p> <p>28日 道路交通対策特別委員会</p> <p>1日 文化芸術・スポーツに関する特別委員会</p> <p>2日 議会改革特別委員会</p> <p>3日 予算特別委員会</p> <p>6日 10日 予算特別委員会
本会議</p> <p>13日 予算特別委員会
本会議</p> <p>14日 議会運営委員会
本会議</p> <p>15日 予算特別委員会
本会議</p> <p>16日 総務財政委員会
本会議</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

主な内容	
予算案について会派の代表質問	2～4
区政一般についての質問	5～7
会派の予算案への意見	8・9
まちの人に聞いてみました!	11

第2回定例会は、5月30日(火)から6月16日(金)までの予定です。

財政運営に目を配り、少子高齢社会に必要な施策の実施を！

杉並区議会自由民主党



協坂たつや

現在の先行き不透明な時代に、世界に対して何を発信することを日本政府に期待するか。

答 反グローバルリズムとポピュリズムがさらに拡大していく前に、国際社会が協力して課題解決に尽くしていくことの必要性を率先して発信してもらいたい。

問 29年度予算案の名称に込めた思いは。特に「加速させる」という言葉の真意はどこに。

答 社会の変化が早く大きい時代に、変化の芽を敏感に察知し、先手を打って課題にチャレンジする姿勢が不可欠。

問 「財政の健全性の確保に努めた」と述べる根拠は。行財政改革の結果、進められる施策は。

答 減収が見込まれる中、基金の取り崩し額や区債の発行額を抑えるなどして財政の健全性の確保に努めた。また、行財政改革で生み出した財源は、保育定員のさらなる確保や学校教育環境の充実などに活用していく。

問 社会保障経費が増え続け、施設の更新費用もかかり、区財政は待ったなしの状況。より一層の改革を進めるよう要望する。

答 行政需要が拡大する中、必要な行政サービスを安定的・持続的に提供していくために、行財政改革推進計画に基づき改革

を着実に進めていく。さらに行政評価の活用など、新たな取組の可能性も追求していきたい。

問 狭あい道路の拡幅に関する条例の改正に込めた思いとは。

答 狭あい道路の拡幅は、減災対策の中心となる課題。事業のさらなる加速化を図るため、支障物件の設置禁止規定を改正に盛り込んだ。区民の安全・安心を確保するために、迅速かつ着実に取り組んでいく。

問 2020年東京大会に向けて区民懇談会が定めた目標は何か。

答 「地域活性」「スポーツ」「バリア」「子ども」をテーマとする取組により、多世代にわたる区民の関わりを深めていくことを目標としている。

問 ふるさと納税に対する方針変更の理由は。また、目的に特化した寄付を募る方が効果をおいていることへの見解は。

答 現状では単なる返礼品競争への後発参入になりかねないことから「チャリティ文化の醸成」や「来街者の増加」を目的とし

た杉並ならではの取組で、制度本来の趣旨に立ち返った運用を目指していく。目的に特化した寄付としては、みどりの基金に考え方を採り入れている。

問 杉並第一小学校の建て替え計画は地域が心から納得できる結論となるよう、強く要望する。

答 方針決定には教育環境の向上を第一に、防災機能の向上、まちのにぎわい創出、所要経費など地域の将来を見据えて総合的な視点から判断する必要があると考えている。地域の皆様の意見をしっかりと伺った上で、最終的な判断をしていく。

問 保育施設の緊急的な整備はいつまで行うのか。数を増やすことも大切だが、地域偏在を確実に解消することも重要では。

答 当面の間、保育需要は増加を続ける見込み、29年度以降も認可保育所の増設を一定程度継続していく。ご指摘のとおり28年度十分に整備が進まなかった高円寺地域や方南・和泉地域への整備を重点的に取り組み、地域のニーズに添えていきたい。

問 29年度は「杉並区教育ビジョン2012」が計画期間の折り返しとなる。この間の総括と残り5年間にかける意気込みを。

答 地域と連携・協働する学校づくりや小中一貫教育の推進、外部の専門人材の活用などを通して、教育ビジョンが目指す人間像に向かって子どもたちが成長していく基盤を築くことができた。今後5年間も全力を傾注し、子どもたちの確かな成長を支援していく決意である。



狭あい道路での緊急車両通行

区長の予算編成方針を受け、2月13日・14日に会派の代表6名が質問しました。その要旨をお知らせします(区長の予算編成方針は、7面をご覧ください)。



島田敏光

反グローバルリズムが顕著になる中で、安定した外交を進めるためには、高齢世代とともに若年世代の生活の安定化を着実に実現していくべきだという分析について、区の見解を問う。

答 区も同様に認識している。高齢者対策にしっかりと取り組むとともに、子どもや若者、生活困窮者、ひとり親家庭、障害者など誰もが住み続けたい、住んでみたいと思えるよう施策・事業を展開していく。

問 財政運営には、公会計情報を組み入れた、より事前統制的な仕組みや経常収支比率などの数値目標も時代に合わせて見直すなど、検討が必要ではないか。

答 現金収支ベースでは把握できない減価償却費などの公会計情報も踏まえた予算編成の検討を進める。また、公会計情報から得られる数値を組み合わせて将来負担を把握し、公表していくことなどを含め、新しい指標などについて検討を重ねていく。

問 区独自の地震被害シミュレーションの結果は、いつ、どのように公表するのか。また「すぎナビ」を活用した見える化の手法についてはいかがか。

答 結果公表は、なるべく早い時期に広報紙などで行う。また手軽にわかりやすく、被害想定などを見るため「すぎナビ」を活用し、スマートフォンなどで、その場の火災危険度などの情報を画像として見られるアプリを構築していく。

問 阿佐ヶ谷駅周辺のまちづくりは、杉並第一小学校改築を中心に、教育環境の向上はもとより、老朽化した校舎の安全対策や区民センターの整備時期などの課題について、地権者との丁寧な話し合いと大胆な発想での取組を期待する。区の見解は。

答 病院や区立施設の建て替え、道路基盤の整備などは、地域の将来を大きく左右するものであるため、方針決定にあたっては多面的な検討を行い、地域の意見を伺ったうえで、将来を見据えて総合的に判断していく。

問 フードドライブで集まった食品を削減に向けた取組の推進について(仮称)杉並もつたないない運動」は具体的にどのように進めていくのか。

答 フードドライブのイベントなどへの拡充、宴会での食残しをなくす「さんまる・いちまの運動」の普及など、地域を巻き込んだ取組を進めていく。

問 高齢化率が上昇し人口減少が進む社会において、先進技術を活用した「課題解決型」のイノベーションの必要性が増している。区のICTを活用した事業の展開と見解について問う。

答 複雑多様化する住民ニーズに対応するには、最新のICTを活用し課題解決にあたること不可欠。29年度実施するモデル事業では、単身高齢者などの見守りに必要な機能を把握するとともに、操作性を十分考慮した仕組みを検討していく。

問 超高齢社会の今、病院中心医療から、かかりつけ医による在宅医療へと地域医療を充実させる必要がある。区は今後、どのように進めていくのか。

答 在宅医療は、生活の場で介護と一体となって提供される医療。相談体制の充実などを図り、区民が安心して在宅医療を受けられる体制整備を進めていく。

問 今後の保育所の整備は、送迎ステーションの設置や施設複合化など、これまでの常識に捉われない手法で拡充を図るべき。区は新たな取組に着手するのか。

答 整備困難な地域では、新たな取組が必要と考えている。複合化については研究していく。

問 (仮称)就学前教育支援センターを新たに整備する意義は。幼稚園や保育施設など就学前教育施設が抱える課題に対しより充実した支援を総合的・一体的に展開する拠点とする。教育・保育の質の向上を図るとともに、就学前から義務教育期間にわたる杉並の教育のさらなる発展を目指していきたい。

希望のゆきわたる杉並へ 区民福祉向上に最善手を打て！

杉並区議会公明党

が進む社会において、先進技術を活用した「課題解決型」のイノベーションの必要性が増している。区のICTを活用した事業の展開と見解について問う。

答 複雑多様化する住民ニーズに対応するには、最新のICTを活用し課題解決にあたること不可欠。29年度実施するモデル事業では、単身高齢者などの見守りに必要な機能を把握するとともに、操作性を十分考慮した仕組みを検討していく。

問 超高齢社会の今、病院中心医療から、かかりつけ医による在宅医療へと地域医療を充実させる必要がある。区は今後、どのように進めていくのか。

答 在宅医療は、生活の場で介護と一体となって提供される医療。相談体制の充実などを図り、区民が安心して在宅医療を受けられる体制整備を進めていく。

問 今後の保育所の整備は、送迎ステーションの設置や施設複合化など、これまでの常識に捉われない手法で拡充を図るべき。区は新たな取組に着手するのか。

答 整備困難な地域では、新たな取組が必要と考えている。複合化については研究していく。

問 (仮称)就学前教育支援センターを新たに整備する意義は。幼稚園や保育施設など就学前教育施設が抱える課題に対しより充実した支援を総合的・一体的に展開する拠点とする。教育・保育の質の向上を図るとともに、就学前から義務教育期間にわたる杉並の教育のさらなる発展を目指していきたい。



フードドライブで集まった食品

予算のここを聞く！ 代表質問

※ フードドライブ=家庭で余っている食品を持ち寄り、福祉団体や施設などに寄付する活動

攻めの区政経営で区民ニーズに応え、更なる区民福祉向上を



増田裕一

問 平成29年度は基本構想(10年ビジョン)の折り返しの年にあたる。前半期の総括と後半期に向けた区長の意気込みは。

答 この間の取組を通じ、意欲や創意工夫を持って粘り強く取り組めば基礎自治体ができることは少なくないし、地域のニーズを熟知した区が先駆けて施策・事業を展開し効果を示せば、国・都の制度や仕組みも変えることができる

問 平成29年度も保育定員の増援策は専業主婦への支援や産後ケアの充実など全体のバランスが肝要。区長の見解は。

答 核家族化が進行する中、区は、孤立を防いで親子ともに健全な生活を送れるように、妊娠期から切れ目のない支援に努めている。医療機関と連携した新たな産後ケア事業の開始や一時預かり保育、乳幼児親子が集える場所の充実などを図っている

問 特別養護老人ホームの整備は、総合計画の最終年度である平成33年度までに1000床の計画で取り組んでいるが、実現に向けた道筋は。

答 特養整備は区政の最重要課題のひとつ。多様な手法を用いて進めており、静岡県南伊豆町の区域外整備や天沼3丁目における整備予定を含め、着実に目標を達成できる道筋はできた

問 障害者の新たな住まいの確保と支援の仕組みづくりについて、課題と区が担うべき役割は。

答 「親なき後」も、地域で安心して生活できる仕組みづくりを進めるには、多様な住まいの選択肢の確保や相談体制の整備が課題。区の役割は、重度知的障害者グループホームを核とした障害者施設の整備や住宅確保要配慮者へ入居支援などを行う居住支援協議会の運営支援、空家の活用など区の各部門が連携し、着実に進めていくことだと認識している

問 善福寺川河川整備事業の進捗状況と今後の予定を問う。

答 環状7号線地下調節池から済美橋までが完了し、現在は済美橋と宮下橋から上流に向かって工事が進められている。また大宮1丁目、二枚橋上流の都立和田堀公園内に調節池を整備する計画などが進められている

問 自転車運転者に、歩道上でも注意を促す取組など安全対策の強化が必要と考える。

答 歩行者優先のルールとマナーを遵守するよう啓発に努めているが、警察など関係機関との連携を一層強化し、自転車通行空間の整備を図るとともに、危険な自転車運転者への啓発や指導に粘り強く取り組んでいく

問 平成33年度までに、町会・自治会加入率を60%とする目標

答 平成33年度までに、町会・自治会加入率を60%とする目標

区民フォーラムみらい

自転車ナビラインで車道の左側通行を案内



達成に向けた区の取組は。

答 住み良い地域社会を形成する上で、町会・自治会は中核を成す存在。今後もしっかりと連携し、特に若い世代の加入を促すアイデアを出し合い共有するなど、加入率の向上に努める

問 荻外荘の復原・整備の予定は。(仮称)荻外荘公園整備を契機に、地域住民のまちづくりの機運を高め、ともに地域活性化に取り組みべき。区の見解は。

答 建物の復原・整備の具体化に向け、29年度から整備基本計画の策定を進める。周辺には文化的資源が多く点在しており、策定中の「荻窪駅周辺まちづくり方針」などを踏まえ、地域の幅広い参画を得ながら、まちづくりに取り組んでいく

問 (仮称)天沼三丁目複合施設に、かつて太宰治が住んでいた建物があった記念となるものを設置する予定はあるか。

答 建物のあった場所の一角に記念碑を、また複合施設内に展示スペースを設ける予定

予算総額は過去最大の規模に

平成29年度予算 2,973億5,273万6千円

「時代の先を見据え、10年ビジョンを加速させる予算」

民意との乖離は深刻、区民参画を保障し区政運営の転換を



山田耕平

問 区長就任後、認可保育所の整備が進まず2度の待機児童緊急対策を出したことへの総括は。

答 認可保育所を核とし、小規模保育や定期利用保育なども組み合わせて取り組んできた。27年度の整備数が計画数を下回り、保育需要は予想を上回る伸びで待機児童が生じた。保育緊急事態宣言を周知し、続いて緊急対策について住民説明会を開催するなどして説明を尽くした。公園は貴重な施設であることは十分認識している。代替場所確保や樹木の残置、学校開放の拡充など要望に可能な限り応えた

問 保育士確保は大きな課題。区独自の直接処遇補助金などを設定すべき。安定的に保育士を確保するため区立認可保育所が必要。民営化方針を見直すべき。

答 直接処遇補助金は、国や都の動向を踏まえ、取組を検討したい。民営化は持続可能な行財政運営のため避けて通れない

問 介護保険制度改善が現場に重大な影響。介護報酬引き下げの影響も深刻。引き下げを見直すよう国に求めるべき。また影響を緩和するため、介護従事者の処遇改善を検討すべき。

答 適切な報酬改定と認識。処

日本共産党杉並区議団

問 区民に縁もゆかりも無いビーチコート整備が理解を得られないと認識しているのか。

答 区議会からの要望に加え、地元商店会や区内のバレーボール団体などから期待する声が高まりつつある。区を挙げて区民の理解を深める取組を進める

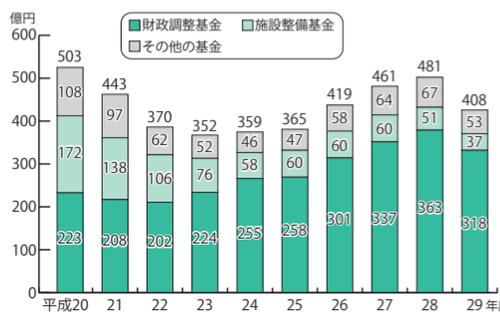
問 先の議会でも区長・議員の給与・報酬引き上げを賛成多数で可決。都政では都民世論を背景に都政改革が進み、知事給与や議員報酬の見直しなどが注目されている。一方、杉並区では社会的要請とは真逆の動き。深刻な民意との乖離。区民の負担増を直視せず、報酬を引き上げることは区民の理解を得られない。

答 報酬改定は報酬等審議会や人事委員会勧告と区の行革の取組や財政状況などを審議の上、答申を受けた。答申を尊重したもので、区民の理解は得られる

問 計画改定でパブリックコメントなどに寄せられた大半の意見が反映されていない。自治基本条例に定める区民参画を保障していない実態を是正すべき。

答 寄せられる意見は限られた数に留まっている。地域説明会や区民懇談会、地域団体などで内容を説明し、区民への周知と意見把握に努めた。将来にわたる必要な区民サービスを継続的に提供していくため、限られた資源を効果的に配分する全体最適・長期最適という視点で政策判断を行い計画決定した

積立基金残高の推移



※27年度までは決算額、28年度は決算見込額、29年度は当初予算額です。そのため、29年度は28年度決算剰余金に係る積立額は見込んでいません。

介護と子どもの貧困対策／仕事と子育てが両立できる杉並を

いのち・平和クラブ



そねふみ

問 介護保険制度は改定の度にサービスが縮小に向かい、介護の社会化が後退している。区は自治体として介護サービスをトータル的にどう保証するのか。

答 現在進めている地域包括ケアシステムをさらに発展させるとともに、多様な事業主体による重層的なサービス提供体制をつくることで地域ぐるみの介護サービスを充実させ、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう努めていく。

問 増え続ける民営保育園の保育の質を担保するためには、直営園を一定以上維持し続け、その経験と質を継承していく体制も必要となる。区の見解は。

答 29年度新設する全ての私立認可保育園に、公立園の元園長や心理専門職などによる巡回相談・指導を行う。さらに認可外保育施設へも心理専門職の巡回指導の回数を増やすなどにより公立保育園で長年培った知識と経験を伝え、区全体の保育の質の向上を図っていく。

問 保育需要の高まりが学童クラブの需要につながる状況が顕著になっている。地域によっては新3年生が学童に入れず困っていると聞く。早急に抜本的取組を求めるがいかがか。

答 引き続き学校改革に合わせた整備や児童館施設の改修などにより学童クラブを拡大し、受け入れ数を確保していく。

問 不登校の子どもが15年度は



生活自立支援窓口

小学校で108人、中学校で205人いた。すべての子どもが安心して通える学校、居場所となる学校づくりに、保護者や地域の手を借りながら取り組んでほしいが、教育委員会の考えは。

答 新年度予算案で相談支援の要となるスクールソーシャルワーカーの増員や新たに宿泊体験事業を実施して適応指導教室における指導の充実を図るための経費を盛り込んだ。また、保護者や地域の方と連携し、学校がこれまで以上に全ての児童・生徒にとつて心安らかに過ごすことができる居場所となるよう、引き続き支援していく。

問 子どもの貧困対策として、民間との連携や協働も視野に入れた効果的な支援策についての検討状況は。また、具体的な課題を把握するための実態調査も必要と考えるが、区の見解は。

答 区の学習支援事業で民間の学習支援団体と連携を図っているほか、民間団体が子ども食堂などの取組を実施するにあたって社会福祉協議会が助言をするなどの支援をしている。実態調査は、子ども・子育て支援事業計画の見直しにあたって行う調査などに調査項目を加えることを検討している。

問 児童養護施設入所者は退所後に孤立することが多いため、家賃補助や奨学金、継続的な見守りが必要。区のと今後の具体的な支援策を問う。

答 住まいや仕事など、生活の困りごとのワンストップ窓口である「くらしのサポートステーション」による伴走型支援を行っている。今後も区内施設や児童相談所と連携を図りながら、きめ細やかな支援を行っていく。くらしのサポートステーション

問 「心身障害者福祉手当」の精神障がい者2級への拡大は待ったなし。見直し拡充は。

答 本来、広域的な制度を講ずることが必要。現行の制度は継続し、都などに制度の見直しを図るよう粘り強く促していく。

問 区における温室効果ガス排出量削減は、都と並ぶ高い目標を設定して取り組んでほしい。

答 杉並区環境基本計画の改定作業の中で、住宅都市としての特性に適した目標設定のあり方を検討していく。

問 2020年東京オリンピックには大きな期待が寄せられている反面、福島復興への人材不足をまねいているとの批判もある。準備にかけるとの予算はできるだけコンパクトにすべき。

答 選定の経緯を勘案すれば、できるところはコンパクト化して準備を進めていくことが重要。

- 首都直下地震等に備えた 減災・防災対策の推進
- 将来にわたるにぎわい創出に向けた 環境整備と魅力発信
- 豊かなみどりと持続可能な環境を 次世代に継承
- 超高齢社会の進展を見据えた 健康づくりと福祉の充実
- 未来を担う子どもたちのための 教育・支援の拡充

予算編成の5つの視点

足元しか見えていない。財政は厳しい局面に向かっている。

自民・無所属クラブ



佐々木 浩

問 区長は都の実行プランを批判し、応援していた対立候補の増田寛也氏を都知事選に敗北した直後に区の顧問に迎えるなど、正直、小池知事に対する区長のわだかまりを感じざるを得ない。これで各分野において都と友好的に連携できるのか。

答 都の実行プランは地方との共存共栄の視点が不足。また増田顧問はあくまで地方創生全般の専門的助言を頂くためで、わだかまりとの指摘は当たらない。

問 保育所関連経費の額と一般会計に占める割合は。財源は。

答 208億円、11.7%。財源は更なる充実を国・都に要望。

問 保育申込者増傾向として潜在需要が掘り起こされる事は喜んでよいとの区長の発言だが、乳幼児期の各家庭の子育て方針（家庭・保育所・幼稚園など）に対して、行政は価値中立であるべきで選択肢を保育所に誘導していくのは疑問だが。

答 今回の保育所整備については真に必要な需要の結果であり誘導したものではない。

問 区長は、最も出生率の低い東京への人口集中は日本の総人口減少に拍車をかけると発言している。ところが保育定員の急増、保育士処遇の区独自加算などは地方から特に若年層人材の区への流入を促し、一方で南伊豆町との自治体連携による特養整備、お試し移住事業推進などと重ねると、まるで若者は杉並

へ高齢者は地方への印象だが、**答** 多様な区民ニーズに的確に対応する取組を推進している。

問 ふるさと納税の寄附を被災地の支援などに活用とあるが、ふるさと納税は本来、杉並のために役立ててほしいとの思いで寄附するもの。被災地支援は寄附者から被災地に直に支援すべきで、寄附者の意に沿わずに区を間に入れるのは、それこそ制度の趣旨を逸脱していないか。

答 被災地支援の形にこうあらねばという制約はない。結果的に支援拡大につながるもの。

問 時代の先を見据え、10年ビジョンを加速させる予算と銘打っているが、その内容は現在進行形の課題解決に終始しており、時代の先を見据えた施策は見当たらない。どう見ても数年程度の視野しかなく、10年ビジョンのその先の長期展望は。

答 本予算の重点事業はいずれも先を見据えた取組。10年ビジョンは長きにわたり区が目指し、維持していく社会を表している。ならばせめて10年ビジョン残り5年分の具体的な財源確保について示せ。

問 中長期的な収入見込みを立っている事は難しい。国・都に財政支援の充実を求める。

問 当初予算で財政調整基金を大きく取り崩し、その年の決算剰余金で積み戻す不安定な財政運営に警鐘を鳴らしてきたが、29年度は48億円の取り崩しとなっており、積み戻しもそれほど見込めない。財政のダムの基金積み上げ目標が後退するのでは。



区役所本庁舎

区政を問う 一般質問

区政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。
2月15日～17日に15名が質問しました。

まちづくり・2020年対策・総合型クラブ・部活を問う



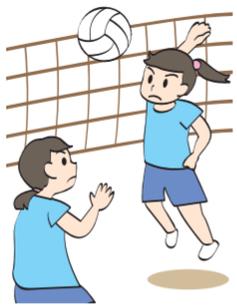
大熊昌巳 (自民)

問 国や都が進める無電柱化に区長はどのように取り組むのか。
答 防災の観点から、狭あい道路の拡幅整備とともに無電柱化を推進するのが効果的。都の財政支援を積極的に活用するとともに、狭あい道路でも課題解決に向けて技術支援を受けるなど連携して取り組んでいく。

問 2020年東京大会に向けた区民懇談会の進捗状況を問う。
答 今後、「地域活性」「スポーツ」「バリア」「子ども」のテーマについて、それぞれのプロジェクトを作るための意見交換を行っていく。

問 総合型地域スポーツクラブの設立支援・運営支援を問う。
答 29年度のスポーツ振興部門の区長部局への移管は、区の支援体制の強化につながる。運営支援は既存のクラブと個別に見直しを行い、ニーズを汲み取りながら実施している。

問 区立中学校の部活動の休養日と指導方法について問う。
答 週1回以上の休養日の設定や専門事業者が指導を行う事業を実施。また今後示される国のガイドラインを踏まえながら、対応方針を検討していく。



災害情報の収集・発信にドローンの活用を!



北明範 (公明)

問 災害情報の収集と発信にドローン(無人航空機)の活用を前向きに検討してもらいたい。
答 災害時の被害状況の把握にドローンは有効と認識。運用上の課題もあるため、活用に向けて調査・研究を継続していく。



問 区内で整備を進めている子ども・子育てプラザに、大型遊具を設置してはどうか。
答 和泉に大型遊具などを設置しているが、今後開設するプラザでも同様に取り組みたい。

問 保育園の屋上に公園など広場の設置を検討してほしい。
答 公園等との複合化は、保育施設のセキュリティ確保等の条件がある。他自治体の運営状況も含めて、調査研究していく。

問 認知症予防のため、区はどのような取組をしているのか。
答 町会などグループ単位での自主的な活動が地域に広まっていくとよいと考えるが、いかがか。
答 ウォーキング事業や料理教室など認知症予防に効果的な生活習慣を身につける取組を進めている。地域で自主的な活動を広めるには、高齢化率や住民の意向など、地域特性を踏まえた働きかけが必要と考えている。

方南地域の防災対策と限界マンション対策



大泉やすまさ (自民)

問 方南1丁目には木造密集地域で、かつ狭あい道路や行き止まり道路が多い。こうした地域の災害時の避難路整備状況は。
答 方南1丁目では、現況調査や戸別訪問、建て替え相談会など地元に着した取組を行っている。行き止まり道路の避難路確保は、民有地の活用などを関係者と議論していきたい。

問 居住者の高齢化や狭小敷地複雑な権利関係等、不燃化促進の課題をどう解消していくのか。
答 必要に応じて個々の課題に対応した専門家を派遣するなど丁寧な相談に応じていく。

問 管理不全に陥った特定空家化マンションを生じさせないために旧耐震基準で建てられたマンションについて報告制度を設けるという都の方針への対応は。
答 現状をしっかり把握することが必要と考えているため、都へ協力しつつ、今後の効果的な実態把握の手法を検討していく。

問 区においてもマンションの適正管理という観点から積極的施策を進めていくべきでは。
答 今後の重要な課題と捉え、関係機関と協力し管理組合の支援など可能な方策を考えていく。



子供の愛着形成と保育のあり方、保育士の専門性を問う



井原太一 (自民)

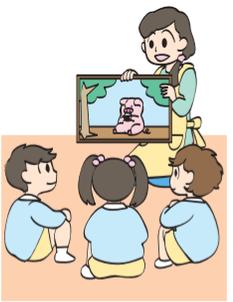
問 愛着形成に重要な時期にある0～2歳児を保護者に代わって預かる保育士の質とは。
答 子どもたちにとって保育士は、愛着の対象や人間形成の支援者となるべき役割を持つと考えている。区が取りまとめた保育実践方針では、保育実践の積み重ねからスキルの向上を目指していくことを明記しており、この方針を活用して、区立保育園のみならず、区全体の保育の質の向上を目指していく。

問 区が考える「保育の質」とは何を指すのか、改めて問う。
答 保育の質は、保育士の面識や保育士の配置数など環境面を含めたハードと、保育士自身の知識や経験などのソフトとの両面によるものと認識している。

問 公立保育所の果たすべき役割とは何か。区の見解を問う。
答 積極的な障害児の受け入れや小規模保育事業者等との連携機能等の役割がますます期待されている。一方で、私立保育園・認可外保育施設数の増加、保育関連経費が増大している現状を踏まえ、今後の区立保育園の担う方向性や内容等のあり方について、さらに検討を進める。

問 和泉学園児童クラブで3年生が入れない状況がある。認識と対策を求め。今後、保育園と同様思い切った対策が必要。
答 指数の低い3年生以上に待機児童が見込まれる。受入数の弾力化で登録数を増やし、子ども・子育てプラザの利用のPRや和泉学園での放課後等居場所事業で多様な受け皿を確保する。また、次の計画改定で一層の受入の拡大を明らかにする。

問 国は横田基地へのオスプレイ配備を容認。上空が横田基地管制下にある自治体に、飛行計画などの全面開示を行うべきか。
答 区民の安全確保のために必要な情報提供を求める。平成5年に横田基地を飛び立った米軍機が杉森中グラウンドに不時着。重大事故につながることから安全の徹底を求めた。



保育園待機児童解消に続き、学童クラブ待機児童対策が急務



新城せつこ (平和)

問 介護保険利用料が2割の対象者は。介護が受けられないケースも出ているが対策は。
答 1月末現在、6090人。高齢者2人世帯などで介護費用が多い場合には、特例減額措置の適用などの相談に応じていく。

問 子どもの貧困対策として不可欠な就学援助の認定基準を、生活保護基準の1.2倍から1.5倍へ引き上げ、入学準備金は入学前に支給するよう求める。
答 認定基準は他区と比較して遜色ない。入学準備金は前年の世帯全員の所得額を確認する必要があるため、現行の7月支給を直ちに前倒しすることは困難。

問 学校給食は食育の観点から重要だが、低所得世帯にとっては自己負担が重い。無償化に踏み出すよう求める。
答 学校給食法第11条第2項で学校給食を受ける児童または生徒の保護者の負担とする旨、規定されている。

問 国民健康保険料は毎年値上げされ区民の暮らしを圧迫しており、新年度の値上げはやめべき。国保は社会保障制度であり、滞納世帯への短期証・資格証の発行、差し押さえはやめよ。
答 高齢化の進展や高額医薬品の利用増加などにより、1人あたりの年間療養給付費が増加するため、保険料改定が必要。督促や催告に応じない滞納世帯に対しては、負担の公平性の観点から滞納処分を行う必要がある。

問 国民健康保険料は毎年値上げされ区民の暮らしを圧迫しており、新年度の値上げはやめべき。国保は社会保障制度であり、滞納世帯への短期証・資格証の発行、差し押さえはやめよ。
答 高齢化の進展や高額医薬品の利用増加などにより、1人あたりの年間療養給付費が増加するため、保険料改定が必要。督促や催告に応じない滞納世帯に対しては、負担の公平性の観点から滞納処分を行う必要がある。



就学援助の拡充、給食費の無償化を/国保料の値上げをやめよ



くすやま美紀 (共産)

問 子どもの貧困対策として不可欠な就学援助の認定基準を、生活保護基準の1.2倍から1.5倍へ引き上げ、入学準備金は入学前に支給するよう求める。
答 認定基準は他区と比較して遜色ない。入学準備金は前年の世帯全員の所得額を確認する必要があるため、現行の7月支給を直ちに前倒しすることは困難。

問 学校給食は食育の観点から重要だが、低所得世帯にとっては自己負担が重い。無償化に踏み出すよう求める。
答 学校給食法第11条第2項で学校給食を受ける児童または生徒の保護者の負担とする旨、規定されている。

問 国民健康保険料は毎年値上げされ区民の暮らしを圧迫しており、新年度の値上げはやめべき。国保は社会保障制度であり、滞納世帯への短期証・資格証の発行、差し押さえはやめよ。
答 高齢化の進展や高額医薬品の利用増加などにより、1人あたりの年間療養給付費が増加するため、保険料改定が必要。督促や催告に応じない滞納世帯に対しては、負担の公平性の観点から滞納処分を行う必要がある。

問 国民健康保険料は毎年値上げされ区民の暮らしを圧迫しており、新年度の値上げはやめべき。国保は社会保障制度であり、滞納世帯への短期証・資格証の発行、差し押さえはやめよ。
答 高齢化の進展や高額医薬品の利用増加などにより、1人あたりの年間療養給付費が増加するため、保険料改定が必要。督促や催告に応じない滞納世帯に対しては、負担の公平性の観点から滞納処分を行う必要がある。

問 国民健康保険料は毎年値上げされ区民の暮らしを圧迫しており、新年度の値上げはやめべき。国保は社会保障制度であり、滞納世帯への短期証・資格証の発行、差し押さえはやめよ。
答 高齢化の進展や高額医薬品の利用増加などにより、1人あたりの年間療養給付費が増加するため、保険料改定が必要。督促や催告に応じない滞納世帯に対しては、負担の公平性の観点から滞納処分を行う必要がある。

皆さんの地盤調査での
巨大校舎建設中止を!!



富田たく
(共産)

問 高円寺地域の小中学校統廃合における小中一貫教育校建設計画にて、昨年夏に行われた地盤調査の報告書で大きな間違ひがあることが近隣住民から指摘されている。小中一貫校新校舎は地上6階、約30mの巨大な高層建築物であるのに対し、地盤調査では5階建て以下の中低層建物として調査が行われていたというもの。この指摘について区の認識は。事実だとすると、どの様な部分に影響が出るのか。

答 地盤調査報告書の「中低層」との記載は「高層」の誤りで、既に修正手続きを進めている。地盤調査については適切に実施し、設計に必要なデータは得られており特段の影響はない。

問 中低層か高層かの違いは、ただの記述ミスで済まされない。改めて地盤調査を行い、支持杭等の設計やり直しを求める。600名もの子ども達が通う校舎が、この様な皆さんの調査で造られてよいのか、見解を求めます。

答 学校の基礎を安全に設計することは、当然重要なこと。安全性を確保した上で、工学的な判断でより合理的で安全な層を杭の支持基盤とした。



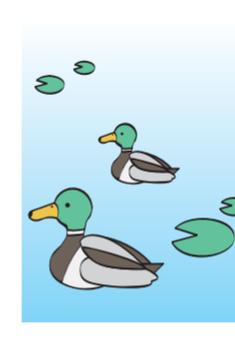
「多様な生き物」も「あまみず」も大切に
するまちづくりを



奥田雅子
(平和)

問 善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業を総括し、今後はシンポジウムの形に捉われず、区民と方向を作り出していくことが必要と考えるが、見解は。

答 10年を迎えるこれまでの取組や成果を整理するとともに、さらに効果的な取組について区民の意見を伺いながら、共有できる方向性を出していきたい。



問 区として「生物多様性地域戦略」を策定し、具体的な取組を進めていくべきと考えるが。

答 今年着手する環境基本計画改定作業の中で、杉並区に適したあり方を検討していきたい。

問 洪水をやらわける「治水蓄雨」を善福寺川上流域に限定して導入するなど「蓄雨」を推進していくことが重要と考えるが。

答 総合治水対策の一環としての雨水流出抑制対策は、河川流域全体で取り組むことが必要と考え、積極的に事業推進を図るともしっかりと支援していく。

持続可能な開発目標
(SDGs)の推進について



山本ひろこ
(公明)

問 区が行っている青少年交流の意義・目的・成果を問う。

答 互いの国や地域の文化、暮らしを理解し、認め合うことが次世代を担う青少年にとって重要。国内外の交流により、相互理解の促進、豊かな人間性の育成といった目的は着実に達成。

問 青少年の友情を深める交流事業の拡充を求める。

答 「友情で結ばれた絆こそ分断を乗り越える基盤となり、偏見や差別をなくす楔になる」との意見に同感。今後も次世代育成基金への賛同・支援を募り、交流自治体や民間事業者と協働して、子どもたちの健やかな成長を支える機会の拡充に努める。

問 学校教育でのSDGsの理解促進について問う。

答 持続可能な社会や世界の創り手となるために必要な資質・能力を育む各学校の取組を今後ともしっかりと支援していく。

問 SDGsの理念を取り入れる多くの方の行動変容につながる地球温暖化対策の推進を。



久我山東原公園の代替
地取得は/災害発生時
の情報伝達について



西久保 健二
(共産)

問 区は住民に対し「断腸の思い」と言ってきたにもかかわらず、答弁が二転三転し、いまだ久我山東原公園の代替地確保に至っていない。恒久的な代替地の取得に向けたこの間の経過は。

答 恒久的な用地が現時点では確保されていない。

問 昨年の11月30日の総務財政委員会「用地確保について、区に協力しないでくれと言って回っている人がどうもいる」という区長発言の真意を問う。

答 複数の情報に基づいた事実を申し上げたもの。

問 いまだ恒久的な代替地確保ができておらず、議会への説明が果たされていない現状を区としてどう総括しているのか。

答 引き続き代替地確保に向けた努力をすするとともに、近隣の皆様や子どもたちが安心して利用できるような公園機能の確保に努めていく。



保護者の声を一切聞か
なかつた公立保育園の
民営化は廃止を



原田あきら
(共産)

問 上井草保育園や杉並保育園の民営化について、区民意見募集も行わずに計画を決定したのは重大問題。自治基本条例違反は明白だ。杉並保育園は計画見直しを求める約千筆もの陳情書名が提出されたが保護者の納得を得られているのか。

答 2回の説明会で相当理解が深まった。丁寧に進めていく。

問 公立保育園の場合、ベテラン・中堅・新人がバランスよく配置されるが、昨年開園した民間保育園12園中、経験20年以上のベテランがいた園はたった2園だった。そんななか、ある公立保育園が民営化されて2年目、7名の保育士が退職する異常な事態が発生。園長の長期不在と退職、不適切な保育による辞職も含む。区としての総括を問う。

答 体調不良や転居、婚姻など様々な理由によりやむを得ない運営体制の確保について事業者に適宜要請する。

問 公営住宅増設を求めるとともに、せめて家賃助成制度の創設は行わなければならないか。

答 昨年、居住支援協議会を設置。公営住宅などの増設や家賃補助制度の創設は考えていない。

問 災害時には、警察や消防と連携し、区が正しい情報を取捨選択して発信することが求められるが、区の見解はどうか。



区長・区議団の訪韓は
不適切/特養整備は区
内を基本とせよ



田中ゆうたろう
(美杉)

問 昨冬の区長・区議団訪韓後、釜山の慰安婦像めぐり日韓関係が悪化。訪韓は不適切だった。他の時期に変更できたのでは。

答 韓国瑞草区側から友好都市協定締結月の訪問を強く要請されたため、12月に実施した。

問 特養整備は区内を基本とすべき。区内遊休民有地所有者への働きかけは十分か。

答 施設の整備には、土地の確保が要。今後も地域密着型施設の公募を中心に、土地所有者への働きかけを整備を促進する。

問 和田中の敷地に設置する保育園は、立地条件を活かしてどのような保育を行うのか。

答 家庭や校舎を活用した行事への参加により、生徒と園児さんには教員や保育士も加えた交流の充実が図られると考える。

問 保育園に転用した久我山東原公園の代替地は見つかったか。また、昨年11月の議会で「目的はついていない」旨が初めて示された。これまでの区の説明と反する。周辺住民に謝罪せよ。



高円寺小中一貫校建設
区は現場に来て住民と
対話を



松尾ゆり
(杉わ)

問 高円寺小中一貫校建設に対する住民の抗議行動が連日続いている。区は話し合いを継続するとしながら、現場には全く来ず、責任放棄ではないか。

答 工事現場の住民対応は、第一義的には工事業者が行うべき。

問 抗議する住民に対して、建設会社社員が自作自演で転び、警察を介入させる事件が起きた。住民を陥れようとする事業者の暴走を区は止めるべき。

答 工事業者は適法かつ丁寧な作業を進めている。

問 上井草保育園の保護者アンケートでは8割が民営化反対の結果であった。保護者選定委員が選定されない段階で一方的に委員会開催を決めたのは、利用者無視、区民無視ではないか。

答 それ以上の延期は事業者選定に支障をきたすことから、選定委員会を開催した。

問 区は児童館の再編を「継承・拡充」と説明してきたが、「あんなさんぶる荻窪」に関する裁判では「分散移転」と述べている。再編は「分散移転」か。

※ 蓄雨=雨を留めて生かす考えの造語。集中豪雨対策は「治水蓄雨」に位置づける。

高齢者ができるだけ、地域に住み続けられる施設の整備を！



大槻城一 (公明)

違法な行政処分を取消し、なぜ、議会に報告がないのか



堀部やすし (無)

問 昨年の本会議の質問で、都営久我山団地の建て替え時に、同地域の高齢化率を踏まえ、高齢者施設など、地域住民が望む施設を設置を求めたが、経過は。

答 ご指摘のとおり、地域の高齢者が介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域密着型の施設整備を検討している。加えて、障害者施設整備についても検討中。



問 区の保育所等利用調整処分が行政手続法8条1項に反する違法な処分であったとして取り消されている。区民の審査請求(不服申立て)を受けた裁判で取り消されているが、その後の対応はどうなっているか。

答 昨年11月の結果通知から改善を図った。審査請求人に対しても、改善した内容による通知書を再送付した。

問 ふるさと納税寄付者への返礼品として、障がい者支援に資する品物が想定されている。これまで以上に区の体制を充実し民間事業者の力を活用しては。

答 品質向上のためには、さらなる全庁的なバックアップ体制が不可欠。民間事業者との連携も積極的に支援していく。

問 違法取消しといった重要な情報が、なぜ区の中で共有されていないのか。たまたま総務省の行政不服審査判決・答申検索データベースを確認していたところ、偶然に区の違法事例を発見した。違法取消し事例は、今後、議会にも報告を求め。

答 裁判により行政処分を取り消した場合の議会への報告は、その内容などを検討した上で判断していきたい。

問 区は魅力的な事業を提案し寄付者が寄付金の使い道を指定できるメニューを検討しては。

答 寄付者が応援したいと思うカテゴリーを今後検討していく。

問 区は魅力的な事業を提案し寄付者が寄付金の使い道を指定できるメニューを検討しては。

答 公開対象情報を増やすとともに、都のオープンデータサイトとの相互連携を予定している。

問 区の総合計画改定時には、国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」を踏まえ検討してはどうか。

答 政府も同目標の反映を奨励。区も次回改定時に対応していく。



区長の予算編成方針

予算編成の基本的な考え方

第一に、昨年、区政を取り巻く環境の変化を踏まえ、長期最適・全体最適の視点をもって改定した実行計画、協働推進計画及び行財政改革推進計画の取組に要する経費を確実に予算に反映させた。平成29年度は改定した計画のスタートの年にあたり、総合計画10年の計画期間後半に突入する重要な年。最終目標の基本構想に掲げる将来像の実現を図るため、総合計画に掲げた施策を推進するための実行計画事業等を確実に予算化した。

平成29年度予算の概要

一般会計は、1780億5000万円、前年度比60億7600万円、3.5%の増。

特別会計の国民健康保険事業会計は前年度比1.1%の減。用地会計は昨年取得した用地の補償金の2割相当分を計上するとともに公共用地先行取得等事業債に対する特別区債利子を計上。介護保険事業会計は5.6%の増。後期高齢者医療事業会計は2.5%の増。中小企業勤労者福祉事業会計は11.7%の減を見込んでいる。

取組による歳出削減を徹底し、財政の健全性を確保した予算編成を行った。

第三に、時代の先を見据えて10年ビジョンの加速化を図るために「首都直下地震等に備えた減災・防災対策の推進」、「将来にわたるにぎわい創出に向けた環境整備と魅力発信」、「豊かなみどりを持続可能な環境を次世代に継承」、「超高齢社会の進展を見据えた健康づくりと福祉の充実」、「未来を担う子どもたちのための教育・支援の拡充」の5つの視点に意を用いて予算を編成した。

第2回定例会を傍聴しませんか

定例会は5月30日(火)から開催予定です。本会議や委員会は、どなたでも傍聴できます。当日、区議会事務局(区役所中棟3階)へお越しください。本会議はライブ中継・録画中継も行っています。パソコンだけでなく、スマートフォンからもご覧になれますので、どうぞご利用ください。



区議会情報公開の運用状況

杉並区議会情報公開条例第22条に基づき、平成28年1月～12月の運用状況をお知らせします。

情報公開請求件数 18件

決定状況	件数	決定日	請求内容
公開	8件	平成28年1月25日	渋谷区議会事務局から杉並区議会事務局への調査事項と回答全て(平成19年～)
		平成28年3月4日	平成27年度政務活動費調査検討委員会で検討した結果がわかる文書
		平成28年6月28日	第2回定例会議文教委員会の音声記録
		平成28年7月14日	平成28年予算特別委員会請求資料一覧リスト
		平成28年8月19日	平成26年度政務活動費の精算に伴う財務会計書類一式
		平成28年8月24日	平成27年決算特別委員会資料請求書の全て等
		平成28年10月13日	平成28年決算特別委員会請求資料一覧
		平成28年12月9日	政務活動費の使途基準等について(所属する政党発行の新聞の購入費、ガンリンの按分率)、変わった経過がわかる全ての文書等
一部公開	9件	平成28年3月4日	平成27年度4月分政務活動費領収書等証拠書類一式
		平成28年4月12日	杉並区議会議員の政務調査費及び政務活動費の住民監査請求に関して議員が議長に提出した書面(過去5年分)
		平成28年5月13日	議員の死去に伴う同議員の期末手当の支給手続に関する全ての文書等
		平成28年6月23日	平成26年度議員の政務活動費の住民監査請求に関し、政務活動費に関する条例11条に基づき、議長が議員に対し、調査した経過のわかるもの及び書面等
		平成28年7月8日	平成26年度杉並区議会議員の政務活動費の住民監査請求に関し、政務活動費に関する条例11条に基づき、議長が区議に対し、調査した経過のわかるもの及び書面等
		平成28年7月21日	平成28年第1回定例会議の予算特別委員会において、委員、議員から請求のあった資料の全て委員会における資料の取り扱いを定めた文書の全て等
		平成28年8月2日	平成27年度分政務活動費領収書等証拠書類一式
非公開	1件	平成28年8月4日	平成27年決算特別委員会資料請求一覧等
		平成28年11月18日	会派の政務活動費(領収書)に関する全て(平成23～27年度)
		平成28年1月7日	政務活動費に関する条例の議長の調査権に基づき、議員が平成15、16、18～20年度に政務調査費で購入した備品の所在地、使用状況の調査結果

平成29年度予算案について

意見発表

予算特別委員会の最終日に、審査してきた予算案について、会派の代表から賛否の意見の発表がありました。

その要旨をお知らせします。なお、次の会派からも意見の発表がありました。

杉並わくわく会議 共に生きる杉並
美しい杉並 無所属
無所属(木村)

将来を見据えた課題解決と持続可能な健康長寿社会の実現を！

杉並区議会自由民主党



大泉やすまさ委員

我が会派は予算審議にあたり、①基本構想実現に向けた内容か②区民の喫緊の課題を的確にみ取り、それに応える予算か③区民の自立を支え、自助・共助を促す内容か④行財政改革に取り組み、未来の子供たちが夢を持って内容か⑤国や都と連携しながら持続可能で健全な財政運営か⑥長期最適・全体最適の視点から適切な予算か、との視点で、質疑を重ね審議した。

その結果、平成29年度一般会計予算案、各特別会計予算案、関連諸議案の全てに賛成する。厳しい数字ながら、健全と判断

「将来にわたるにぎわい創出に向けた環境整備と魅力発信」に関し、ガバメントクラウドファンディングなど共感に重点を置いた寄附受け入れ施策の設置を求める。

財政健全化について、区債残高が約9%増、基金の約15%を取り崩す見込みとの状況は大きな危惧を感じるものの、さらなる保育定員確保や老朽施設の改修・改築など先送りできない施策へ対応するため、また、10年

「豊かなみどり」と持続可能な環境を次世代に継承」に関し、Park-PFI制度や一括プロポーザルの実施など公園や施設が自ら収益力を身につけるべく、公民連携で取り組むよう求める。

ビジョンを力強く押し進めていくためという理解において、健全と判断。ただし今後、基金の新たな積立方針の策定や区債の償還年数などの見直しに早急に取り組みことを求める。

「超高齢社会の進展を見据えた健康づくりと福祉の充実」に関し、スマートウェルネス協議会への参加とICT活用の取組を高く評価。スマートプラチナ社会の到来を見据え、健康寿命

行財政改革は、さらなるコスト意識の浸透と区有財産の有効活用、収益力強化の観点で、強

延伸に向けた具体的取組へと着実に進めることを求める。先駆的な高齢者の口腔ケアの取組を通じ、フレイルの理解を全ての区民に広げようとする。

5つの個別施策に対して

「未来を担う子どもたちのための教育・支援の拡充」に関し、認可保育所を核とした保育所整備には一定の評価。地域偏在や

個別施策の「首都直下地震等に備えた減災・防災対策の推進」に関して、糸魚川大火を教訓とした地域防災力の再点検と災害時避難路の確保、住宅火災警報

「未来を担う子どもたちのための教育・支援の拡充」に関し、認可保育所を核とした保育所整備には一定の評価。地域偏在や保育士確保など課題の解消に機

敏な対応を求める。

ICTに関する施策が多く計上されているが、区の情報化政

区民の声なき声を受け止め、希望のゆきわたる杉並へ

杉並区議会公明党



横山えみ委員

平成29年度一般会計予算案、各特別会計予算案並びに関連諸議案の審査にあたり①基本構想実現のため、総合計画に掲げた施策が実行計画に確実に反映されているか②持続可能な財政運営を図るため財政の健全性の確保が図られているか③区民の声

結果、全ての予算に賛成する。基本構想実現に向け、歳入確保を評価

以下、会派の要望を含め意見を述べる。まず、区の歳入の根幹を成す特別区民税の安定的な収入確保を目指して、口座振替

女性防災リーダーの育成を始め、会派が要望してきた簡易水道消火器具の設置を評価する。

「超高齢社会の進展を見据えた健康づくりと福祉の充実」に関し、スマートウェルネス協議会への参加とICT活用の取組を高く評価。スマートプラチナ社会の到来を見据え、健康寿命

待機児童解消の取組について、29年度も保育士確保と質の向上に努め、保育園偏在解消に一層努めてほしい。わが党が推進してきた年金受給資格が10年に短縮し、区でも2000名近くが対象になる。ひとりも漏れることのないよう努めてほしい。

電子レセプトデータなどを活用した「在宅医療需要・供給等の分析」の実施は、2025年の地域包括ケアシステム構築において大変重要な取組。最新の技術を活用したデータ分析に基づく効果的な政策立案につなげてもらいたい。

「未来を担う子どもたちのための教育・支援の拡充」に関し、認可保育所を核とした保育所整備には一定の評価。地域偏在や保育士確保など課題の解消に機

敏な対応を求める。

ICTに関する施策が多く計上されているが、区の情報化政

敏な対応を求める。

ICTに関する施策が多く計上されているが、区の情報化政

敏な対応を求める。

ICTに関する施策が多く計上されているが、区の情報化政

新年度も保育園1000人増を「特養1000床に目処

区民フォーラムみらい



太田哲二委員

平成29年度一般会計予算、各特別会計予算並びに関連諸議案に賛成の立場で意見を述べる。歳入増の要因は引き続き研究

まず歳入について、一つは、特別区民税が約12億円増加している。増加の最大の要因は人口増加に起因する納税義務者の増加とわかった。ただし、増税による増加額や景気の動向による増減、また社会階層のどのレベルが影響を与えたのかについては疑問が残り、それらの点を今後研究したい。

二つ目は、特別区財政調整交付金に関して。普通交付金370億円、特別交付金12億円、合計382億円。28年度に比べて5億円、1.3%の減少。そもそも私は都区制度における財政調整そのものに漠然たる不信を持っている。本来ならばプラス100億円あっても良いと考えている。機会をみて研究する。

計画の実施は丁寧、着実に

次に歳出について述べる。平成28年度の杉並区の最大の問題は保育園だった。田中区長は「すぎなみ保育緊急事態宣言」を行い、2200人の定員増を打ち出した。予算特別委員会の審議で、達成できそうとの見込みを聞き安堵した。平成29年度の1000人程度の増員を図る計画も着実に進めてもらいたい。

杉並第一小学校の建て替え計画は、具体的に動き出す矢先、近隣病院の移転建て替えが突然持ち上がった。予算特別委員会

の審議を通じて議論の整理ができたが、慌てず慎重に進めてもらいたい。

ふるさと納税に関しては、私どもも知恵を出していきたい。とりわけ以下8つの施策について、意見を述べる。

①居住支援協議会で実のある結果を出し、障害者の住まいを確保してもらいたい。
②特別養護老人ホーム1000床増加計画は審議を通じて、着実な進捗が認められた。
③55歳以上を対象にした福祉施設への就労支援開始に期待する。
④高齢者の健康保持のため、口腔ケアの充実、在宅医療の充実、ICTを活用した在宅生活の支援などが確実に実行されること。
⑤(仮称)荻外荘の復原は貴重な歴史のひとコマであり喜ばしい。
⑥公園は都立公園にも目配りし、都と連絡を密にするよう求める。
⑦精神障害者への心身障害者医療費助成制度が実現しそうだが、精神障害の理解について、区民への啓発を望む。
⑧中央図書館の改修は、建築総額の予算を踏まえ、専門家と話し、区民意見を大切にしながら基本設計の準備を進めてもらいたい。

近隣病院の移転建て替えが突然持ち上がった。予算特別委員会

の審議を通じて議論の整理ができたが、慌てず慎重に進めてもらいたい。

※1 ガバメントクラウドファンディング=自治体が特定の目的のために、インターネット上で広く呼びかけて資金を募る方法
※2 フレイル=年齢に伴って、筋力や心身の活力が低下している状態

区民の負担増は深刻 悪政からの「防波堤」となり負担軽減を

日本共産党杉並区議団

医療・介護の負担増、年金削減など、区民の負担増は深刻である。こうした状況だからこそ、我が党区議団は、住民の福祉や暮らしを守る自治体の役割を強く発揮することが求められているという立場から質疑に臨んだ。

本年4月時点で待機児童ゼロを実現出来ない場合、緊急の定員確保などの対応を求めたが、区は既存計画内での対応に留まる姿勢である。待機児童ゼロを現実できるかどうか見通しが定まらないなか、区自ら「待機児童ゼロを達成する」と明言している以上、緊急対応を検討するよう求める。

とりわけ国民健康保険料の負担は区民のくらしに重くのしかかっている。「国保料が高くて払えない」との声が多数寄せられているが、区は、区民のくらしを圧迫することについて認識を示さず、値上げは必要とする姿勢に終始。介護の問題では、介護報酬引き下げの影響は深刻であり、介護保険運営協議会においても切実な声が出されている。国に対し現場の深刻な現状を伝え、これまでの介護報酬引き下げの見直しや介護報酬引き下げの影響を緩和すべく区独自に介護従事者の処遇改善を検討すること。また消費税増税分を介護保険料や国民健康保険料の引き下げにあてるなど区民負担の軽減に活用すべきと求める。

区民・議会軽視の区政運営も大変問題である。高円寺小中一貫校建設における杭打ちの問題は、議会への適切な情報提供を欠いた議決が行われた実態があった。予算公表を議会公表前に区ホームページで公開するなど、議会軽視ともとれる問題が噴出している。杉並保育園民営化の保護者説明会での「計画関係と違うのは、議会のチェックが入りすぎてしまう」という発言は「区民・議会軽視の区政運営も大変問題である。高円寺小中一貫校建設における杭打ちの問題は、議会への適切な情報提供を欠いた議決が行われた実態があった。予算公表を議会公表前に区ホームページで公開するなど、議会軽視ともとれる問題が噴出している。杉並保育園民営化の保護者説明会での「計画関係と違うのは、議会のチェックが入りすぎてしまう」という発言は

すぎなみ保育緊急事態宣言に基づく緊急対策について、保育用地として活用可能な場所もある一方、利用頻度が高い公園の保育所転用を強行するなど、地域住民のコミュニティの「要」が奪われる事態を発生させた。区が、地域住民と膝詰めで協議する姿勢を持たず、計画強行したことは区政史上、重大な禍根を残した。



金子けんたろう委員

2017年度杉並区の予算案に対して主な賛成理由、評価する点、要望・意見などを述べる。①自治体の役割は福祉の増進にあるとし、財政指標の数字を達成するよりも区民福祉を優先させる財政運営を評価。②保育園待機児童ゼロに向けて本気で取り組む姿勢を評価。今後は用地確保の際などに周辺住民へのより一層丁寧な説明や話し合いに努めるよう求める。③超高齢社会の到来を見据えた福祉政策、中でも区内外での特養ホーム待機者解消への取組について。区内では小学校跡地や国有地などの活用はもろろん、区外の南伊豆町などの自治体間連携は都心部の特養待機者の解消と、受け入れ地での雇用創出・消費の拡大も見込まれる優れた施策であると評価。

区の保育園待機児童や特養待機者を解消する取組を評価

いのち・平和クラブ

2017年度杉並区の予算案に対して主な賛成理由、評価する点、要望・意見などを述べる。①自治体の役割は福祉の増進にあるとし、財政指標の数字を達成するよりも区民福祉を優先させる財政運営を評価。②保育園待機児童ゼロに向けて本気で取り組む姿勢を評価。今後は用地確保の際などに周辺住民へのより一層丁寧な説明や話し合いに努めるよう求める。③超高齢社会の到来を見据えた福祉政策、中でも区内外での特養ホーム待機者解消への取組について。区内では小学校跡地や国有地などの活用はもろろん、区外の南伊豆町などの自治体間連携は都心部の特養待機者の解消と、受け入れ地での雇用創出・消費の拡大も見込まれる優れた施策であると評価。

④会派が求めた子どもの貧困実態調査を実施するとの答弁を評価。丁寧な調査・分析を求める。⑤住宅確保要配慮者が円滑に住まいを確保できる仕組みとして居住支援協議会を立ち上げたことを評価。今後は空家・空き室などを活用したワンストップの支援体制の構築を求める。⑥区立施設再編整備計画への意見。施設建物が築50年を超え、今後一斉に建て替え時期を迎える状況で、施設の再編は不可避だが、児童館機能の継承と拡充を求める。⑦従来の杉並第一小学校の複合化・建て替え計画とは別に、急

きよ浮上した近隣病院の移転建て替え計画に伴って杉一小を病院跡地に建て替える案が浮上。教育環境を考えれば賛成できるが、これまでの建て替え計画は保護者や学校関係者との懇談会で話し合われてきた経緯がある。子どもの教育環境を第一に保護者や地域の懸念、要望を踏まえ丁寧な合意形成を求める。



川野たかあき委員

⑧現業職や窓口業務の委託化について、我が会派は反対の立場を表明してきた。介護・国保に続き、課税課の窓口業務の委託も示されたが、個人情報流出事故が絶えない現状下では不安を拭い切れない。加えて学校の用務・警備・給食業務などの委託化は、非正規雇用の拡大やサービス質の低下など懸念があり、見直すよう求める。

⑨私立保育園にしか国・都からの補助金が出なくなったことから、新設する保育園が私立になることは止むを得ないとしても保育の質を守るには区立保育園の維持が欠かせない。建て替えに伴う安易な民営化は控えるべき。保育の質を守るためのガイドラインの策定を求める。

本当の意味での先を見据えた財政運営を求める

自民・無所属クラブ

私たちが会派は、平成29年度予算が本時代に先を見据えた形になっているのかを財政・行政の改革・区長の区政運営に取組む姿勢の大きく3つの視点から評価をした。「先を見据えた予算」とは評価し難い。まず財政面をみると、大規模施設の改築経費増などで50億5820万円の区債発行が見込まれている。区債発行については慎重に対応するよう求めてきたが、区の区債残高は年々増加し、23区平均を上回る勢いである。一方で財政調整基金から46億円という多額の取り崩しを行うことは、基金の積み上げ目標に多大な影響を与え、区債と基金のバランスも悪化する。規律ある財政運営のためには、長期的な視点をもった財政計画を作るべきである。

以下、個別の施策について意見を述べる。はじめに保育施策については対処療法的ではなく計画的に整備すること、地域バランスに配慮した認可保育所整備・計画策定を望む。また受益者負担の観点から保育料の適正化が急務。さらに保育園民間委託について、長期プラン策定を要望する。

次に、行財政改革をみると、財政効果見込額は田中区政が始まって以来最低の約5億2700万円、職員削減見込数は10人程度に高まる行政需要を自治体が多量に担うべきか、施策ごとに常に考慮すべきである。三点目の区長の区政運営に取組む姿勢については、ふるさと納税を例にとる。区は昨年6月に「ふるさと納税制度検討会」を立ち上げ、返礼品について検討を開始するなど計画は順調に進んでいたが、今年1月、区長が突然その計画を中止した。制度導入に向け入念に取り組んできた区職員の梯子を外し、さら



小林ゆみ委員



予算特別委員会の様子

「予算特別委員会」で平成29年度予算案を審議しました！

何に使う？

どうして必要？

区長から提案された予算案等を審査するため、全ての議員による予算特別委員会（委員長：浅井くにお委員、副委員長：北明範委員）を設置しました。3月3日～15日までの13日間で、項目ごとに説明や質疑が行われ、予算がどのように使われるのかを審査しました。

予算特別委員会の全部の様子は、区議会ホームページの動画コーナーでご覧になれます。

常任委員会・特別委員会等の活動をお知らせします(1月～4月)

常任委員会

◇総務財政委員会

【開会日】 29年2月24日
【議案審査】 第1～6、15～17号 【所管事項調査】 (1) 杉並第一小学校等複合施設整備の検討状況と今後の進め方について (2) (仮称)永福三丁目複合施設の整備方針等について ほか5件
【開会日】 29年3月15日
【議案審査】 第31号
【開会日】 29年4月17日
【付託事項審査】 陳情審査 【所管事項調査】 (1) 「杉並区と大塚製薬株式会社との連携と協働に関する包括協定」の締結について (2) 杉並第一小学校等施設整備方針(案)の策定と今後の取組について

◇区民生活委員会

【開会日】 29年2月20日
【議案審査】 第21号 【所管事項調査】 (1) 男女共同参画に関する意識と生活実態調査について (2) 協働提案制度の今後の取組について ほか1件

◇保健福祉委員会

【開会日】 29年2月21日
【議案審査】 第7～9、18～20号 【付託事項審査】 陳情審査 【所管事項調査】 (1) 年金受給資格の短縮について (2) 後期高齢者医療保険料の軽減判定におけるシステム誤りについて ほか14件

◇都市環境委員会

【開会日】 29年2月22日
【所管事項調査】 (1) 玉川上水・放射5号線周辺地区地区計画等の策定について (2) (仮称)荻外荘公園の整備の取組状況について ほか5件

◇文教委員会

【開会日】 29年2月23日
【所管事項調査】 (1) 平成27年度における杉並和泉学園の運営等に関する検証結果について (2) 平成28年度学力等調査の結果について ほか2件

議会運営委員会

【開会日】 29年1月16日
【議 題】 平成29年第1回定例会の日程について ほか
【開会日】 29年2月3日
【議 題】 定例会の提案事項について ほか
【開会日】 29年3月14日
【議 題】 定例会の追加提案事項について ほか
【開会日】 29年3月16日
【議 題】 議案審査結果報告について ほか
【開会日】 29年4月27日
【議 題】 臨時会の招集請求について

特別委員会

◇災害対策特別委員会

【開会日】 29年2月27日
【所管事項調査】 (1) 「3.11を忘れない」等の取組について ほか3件

◇道路交通対策特別委員会

【開会日】 29年2月28日
【所管事項調査】 (1) 外環道の進捗状況について (2) 「杉並区自転車利用総合計画」の改定について ほか2件

◇文化芸術・スポーツに関する特別委員会

【視察日】 29年1月16日
【視察内容】 東京オリンピック・パラリンピック、スポーツに関する調査(大田区役所、大森ふるさとの浜辺公園)

大森ふるさとの浜辺公園(大田区)にて、建設中の競技会場を視察
【開会日】 29年3月1日
【所管事項調査】 (1) 協働提案事業における南相馬市との連携について ほか3件

◇議会改革特別委員会

【開会日】 29年3月2日
【所管事項調査】 (1) 議会基本条例について (2) 議会図書室・議員厚生室について

区議会だよりの発行予定

平成29年度の発行予定と掲載内容(予定)をお知らせします。新聞折り込みのほか、区内の各駅、公衆浴場、コンビニエンスストアなどで配布しています。ぜひ、ご覧ください!

- 第1回定例会号：平成29年5月1日発行
代表質問、一般質問、予算について
ほか
- 第2回定例会号：平成29年8月1日発行
一般質問
ほか

- 第3回定例会号：平成29年11月15日発行
一般質問、決算について、行政視察の報告
ほか
- 第4回定例会号：平成30年1月1日発行
年頭のあいさつ、一般質問
ほか

このほか臨時会があった場合には、必要に応じて臨時会号を発行します。

● **お知らせ** ●
◆議員の辞職
平成29年3月31日付
原田あきら議員(共産)

◆ **陳情の審査結果** ◆
〔不採択〕
◆杉並保育園の民営化に関する陳情(28陳情第23号)

区議会ポスターの写真を募集しています!

杉並区議会では、身近で親しみやすく、わかりやすい議会を目指しています。より多くの方が議会に興味を持っていただけるよう、年4回(2月・5月・9月・11月)の定例会の開催をお知らせするポスターの写真を、年間を通じて募集しています。

すてきな1枚が撮れた際には、ぜひご応募ください。

■ **内容**：応募者自身が杉並区内で撮影した、季節を感じる風景や表情豊かな人物写真など、未発表の作品。※人物が写っている場合は、その人物の許可を得ていること。

■ **募集期間**：平成30年3月30日(金)まで

■ **応募規格**：データまたはプリント(2L～六つ切り)のどちらか

■ **応募方法**：①撮影者の住所・氏名・電話番号、②撮影場所、撮影年月日、被写体についての簡単な説明を明記の上、区議会事務局へ郵送または持参。※デジタルデータの場合は、CD-Rに記録して応募してください。

■ **ポスター掲示方法**：定例会開会の1週間前から閉会までの間、区内約250カ所の地域掲示板等に掲示します。採用作品は、撮影者の氏名等を明記の上、ポスターに使用します。

■ **その他**：①杉並区議会広報委員会で審査します(賞品等はありませんので、ご了承ください)。②区議会ホームページに募集の詳細を載せています。③応募写真等の返却はいたしません。

■ **お問い合わせ・応募先**：区議会事務局 広報担当



傍聴に行けなかったけれど、本会議の様子を知りたい！

住んでいる地域のこと、どんなことが話されているのかな

動画だと聞き取りづらいので、内容を文字で確認したい

委員会で話し合われたことをちょっと調べたいんだけどな

区議会ホームページ「会議録」の【詳細検索】を使ってみませんか？

キーワードや議員名などで、会議録の中から簡単に検索ができる機能です！



①はじめに「詳細検索」をクリック

杉並区議会 Sugunami city assembly 議会中継・会議録検索システム

現在位置：トップページ>会議録の検索

お知らせ
会議の予定

映像配信
本会議ライブ中継
本会議録画放映
委員会録画放映

会議録検索
本会議の閲覧
委員会の閲覧
詳細検索
一般質問
区議会公式サイト

会議録の検索

検索語	▶説明	<input type="text" value="A 井草森公園"/>	<input type="text" value="B"/>
検索条件	▶説明	<input checked="" type="radio"/> すべて含む	<input type="radio"/> いずれかを含む
同義語検索	▶説明	<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない ▶同義語の確認
発言者の種別	▶説明	<input checked="" type="checkbox"/> 議長	<input checked="" type="checkbox"/> 質問者 <input checked="" type="checkbox"/> 答弁者 <input checked="" type="checkbox"/> 目次・その他
検索対象の会議	▶説明	<input checked="" type="checkbox"/> 本会議 <input checked="" type="checkbox"/> 常任委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 特別委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 議会運営委員会	<input type="checkbox"/> すべて選択する <input type="checkbox"/> すべてのチェックを外す
表示順の指定	▶説明	<input checked="" type="radio"/> 新しい会議から表示	<input type="radio"/> 古い会議から表示
指定済みの条件	▶説明		

②例えば、検索語に「井草森公園」と入力して、検索実行ボタンをクリック（他の条件は、必要に応じて選択）

92件の日程がヒットしました。 ◆をクリックすると発言者を表示します。

平成 28年平成 27年平成 26年平成 25年平成 24年平成 23年平成 22年平成 21年平成 20年平成 19年平成 18年平成 17年平成 16年平成 15年

- ◆平成28年第4回定例会,11月17日-20号
- ◆平成28年 9月26日災害対策特別委員会,09月26日-01号
- ◆平成28年第3回定例会,09月14日-18号
- ◆平成28年 8月29日総務財政委員会,08月29日-01号
- ◆平成28年 6月 7日都市環境委員会,06月07日-01号
- ◆平成28年 6月 3日区民生活委員会,06月03日-01号

③検索語が含まれる会議録が、抽出されます。下線部をクリックすると、内容がご覧になれます。

区議会ホームページ → 会議録検索バナー → 本会議の会議録検索(外部リンク) または 委員会の会議録検索(外部リンク)

※会議録とは、本会議や委員会での議員の質問や区長等の答弁を詳しく記録したものです。会議終了のおおむね2カ月後からご覧になれます。

区議会のあんなこと、こんなこと

まちの人に聞いてみました！

杉並区議会では、身近で親しみやすくわかりやすい議会を目指しています。区民のみなさんが区議会をどう感じているのか、実際にまちに出て聞いてみました。

Q.「杉並区議会」のイメージは？

- A. ●よく知らない●わかりづらい●地味…
●区をより良くするために考えている場所
●あるのは知っているけれど、身近ではない
●がんばっている

Q.今、気になる区の事業は？

- A. ●保育所の増設●学童も増やしてほしい
●高齢者の一人暮らしをどうするか
●子育て応援券の金額が減ってしまったこと

Q.区議会にもっとこうなってほしい！ことは？

- A. ●質問の前置きが長い！
●広報紙に地域の歴史を紹介するコーナーがあったら、おもしろい
●インターネットで速報やダイジェスト版としてコンパクトに配信してほしい
●区民の意見をもっとダイレクトに伝える方法があったらいい
●インターネット以外で、もっと情報を知りたい

Q.杉並区の好きなところは？

- A. ●自然の多い公園がたくさんある
●買い物や生活に便利
●ボール遊びできる公園が多い
●まちに歴史がある
●川沿いの遊歩道が整備されている



広報委員からの一言：ご協力ありがとうございました。区議会の活動にもっと興味を持っていただけるよう、今後も努力していきたいと思ます。

議案等の概要と審議結果

○=賛成 ×=反対 平成29年3月16日議決（※は2月17日議決）

議案番号	件名	概要	自民	公明	未来	共産	平和	自無	杉わ	共生	美杉	無	無木	結果
1号	杉並区個人情報保護条例の一部を改正する条例	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、条例で定める個人番号を利用することができる事務に係る情報提供等の記録を訂正した場合の手続の設定等	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
2号	杉並区職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例	地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正等に伴う育児休業の対象となる子の範囲の改正等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
3号	杉並区職員の特殊勤務手当に関する条例及び杉並区組織条例の一部を改正する条例	政策経営部及び総務部の分掌事務の改定及び衛生試験所の廃止に伴う規定の整備	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	可決
4号	杉並区職員の配偶者同行休業に関する条例の一部を改正する条例	配偶者同行休業の期間の再度の延長ができる特別の事情の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
5号	杉並区教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例	学校における体育に関することを除き、スポーツに関する事務は、区長が管理及び執行することとする特例	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
6号	杉並区議会議員及び杉並区長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	選挙運動の公費負担の限度額の引上げ	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	可決
7号	杉並区国民健康保険条例及び杉並区介護保険条例の一部を改正する条例	保険料減免申請書等の記載事項への個人番号の追加	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	可決
8号	杉並区立保育所及び小規模保育事業所条例の一部を改正する条例	上高井戸保育園及び阿佐谷南保育園の位置の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
9号	杉並区ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例	児童福祉法の一部改正に伴う規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
10号	杉並区立地域区民センター及び区民集会所条例及び杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例の一部を改正する条例	ゆうゆう馬橋館の位置の変更及び併設する区民集会所の設置に伴う名称等の設定等	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
11号	杉並区特別区税条例等の一部を改正する条例	軽自動車税の環境性能割の創設等	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
12号	杉並区国民健康保険条例の一部を改正する条例	保険料率の改定等	○	○	○	×	○ 欠2	○	×	○	○	○	○	可決
13号	杉並区営住宅条例の一部を改正する条例	区営住宅9カ所の駐車場の使用料の改定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
14号	杉並区事務手数料条例の一部を改正する条例	住宅以外の建築物の新築時における建築物エネルギー消費性能適合性判定に係る審査手数料の設定等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
15号	杉並区永福体育館移転改修建築工事の請負契約の締結について	契約金額：10億1,736万円 契約の相手方：江州・興信・大島建設共同企業体	○	○	○	×	○	○	×	○	×	×	×	可決
16号	損害の賠償について	区職員が運転する軽小型ダンプ車が、ごみ収集作業中に起こした事故に関する損害賠償	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
17号	平成28年度杉並区一般会計補正予算(第7号)	待機児童解消対策としての保育施設建設助成や国の第二次補正予算による「臨時福祉給付金給付事業」など緊急を要する事業及び平成28年度の精算的要素を含む補正55億5,051万9千円のほか、繰越明許費、債務負担行為、地方債の補正	○	○	○	×	○	○	×	○	×	×	×	可決
18号	平成28年度杉並区国民健康保険事業会計補正予算(第1号)	国民健康保険料等の歳入及び保険給付費等の歳出の実績に伴い、17億4,919万9千円の減額補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
19号	平成28年度杉並区介護保険事業会計補正予算(第1号)	繰越金等の歳入及び国庫支出金等返還金等の歳出の実績に伴い、9億6,996万5千円の増額補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
20号	平成28年度杉並区後期高齢者医療事業会計補正予算(第1号)	繰越金等の歳入及び諸支出金等の歳出の実績に伴い、4億3,077万4千円の増額補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
21号	平成28年度杉並区中小企業勤労者福祉事業会計補正予算(第1号)	繰越金の歳入実績に伴い、729万2千円の増額補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
22号	平成29年度杉並区一般会計予算	予算総額1,780億5千万円	○	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	可決
23号	平成29年度杉並区国民健康保険事業会計予算	予算総額647億4,726万円	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
24号	平成29年度杉並区用地会計予算	予算総額2億7,270万2千円	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	可決
25号	平成29年度杉並区介護保険事業会計予算	予算総額410億1,565万円	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
26号	平成29年度杉並区後期高齢者医療事業会計予算	予算総額131億6,062万4千円	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
27号	平成29年度杉並区中小企業勤労者福祉事業会計予算	予算総額1億650万円	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	可決
28号	人権擁護委員候補者の推薦について ※	三浦範子(みうら のりこ)氏を候補者として推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
29号	人権擁護委員候補者の推薦について ※	大川康徳(おおかわ やすのり)氏を候補者として推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
30号	人権擁護委員候補者の推薦について ※	高村定憲(たかむら さだのり)氏を候補者として推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
31号	損害の賠償について	区立施設における園外活動中の事故に関する損害賠償	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
報告1号	地方自治法第180条第1項の規定により指定された契約金額の増減の専決処分をしたことの報告について ※	平成27年第3回定例会で議決された「仮称成田東四丁目保育園建設建築工事」の契約金額を349万9,200円増額し、3億9,661万9,200円とした。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告聴取
報告2号	地方自治法第180条第1項の規定により指定された損害賠償額の決定の専決処分をしたことの報告について ※	6件の法律上の義務に属する損害賠償額を報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告聴取
議員提出議案1号	杉並区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 ※	議会活動の長期休止に対する報酬減額規定の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案2号	区長の専決処分事項の指定について ※	地方自治法第180条第1項の規定により、区長において専決処分することができる事項の指定について、指定内容の改定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	可決

議員別の表決結果は、杉並区議会ホームページの「議案の一覧」でご覧いただけます。

《会派名・構成人数》(平成29年3月16日現在)

自民/杉並区議会自由民主党(12人)、公明/杉並区議会公明党(8人)、未来/区民フォーラムみらい(6人)、共産/日本共産党杉並区議団(6人)、平和/いのち・平和クラブ(6人)、自無/自民・無所属クラブ(5人)、杉わ/杉わくわく会議(1人)、共生/共に生きる杉並(1人)、美杉/美しい杉並(1人)、無/無所属(1人)、無木/無所属(木村)(1人)